

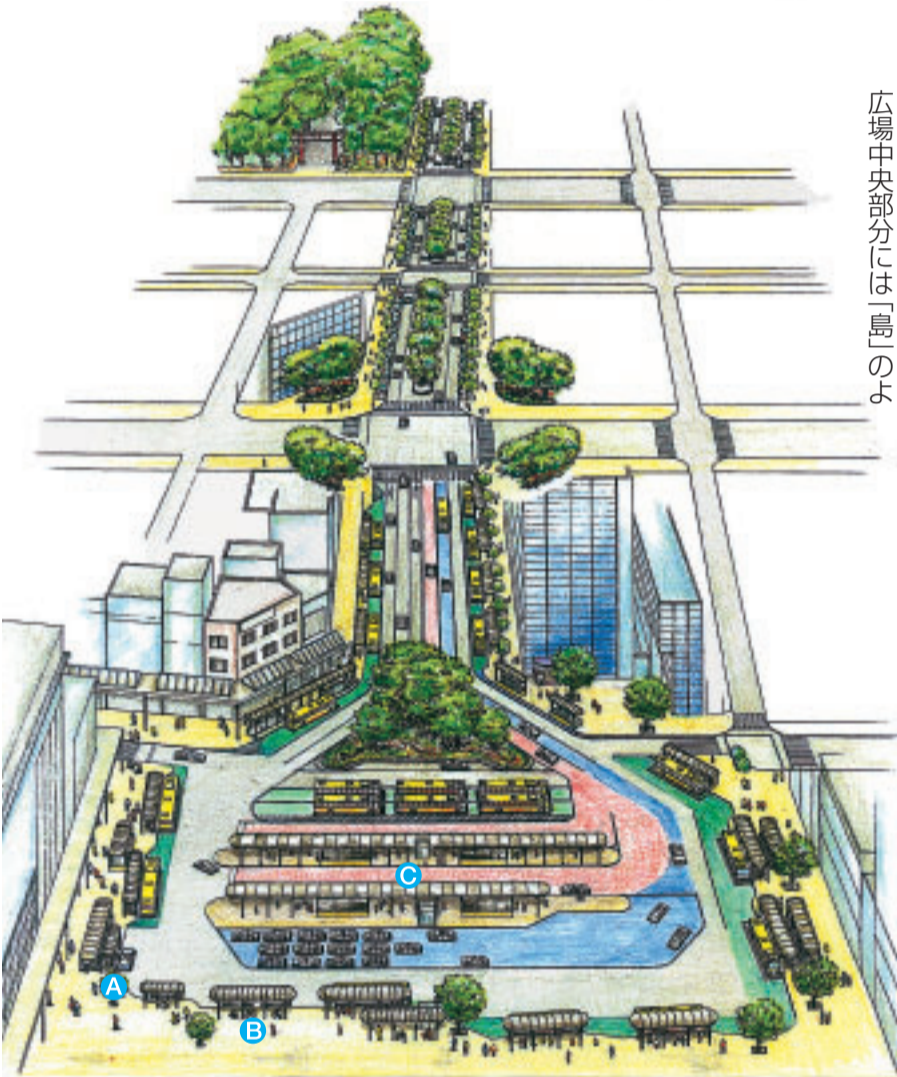
- ・2面…「まちづくり条例」を施行
- ・3面…夏休みは「ボランティア活動」にチャレンジ

特集(4・5面)…このまちにバリアはいらない

●発行 平塚市 ●編集 広報・情報政策課
〒254-8686 神奈川県平塚市浅間町9番1号
電話 0463-23-1111 FAX 0463-23-9467
http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/
●発行部数 100,000部(毎月1日・15日発行)

平塚駅北口駅前広場をバリアフリー化 平成21年3月完成予定

ノンステップで駅へ、家路へ



平塚駅北口駅前広場バリアフリー化イメージ

図中の緑色の部分がバス乗降場、Aがタクシー乗り場、Bが身体障がい者用乗降場、Cが一般車両乗降場

だれもが使いやすい駅前広場を

■駅前広場のバリアとは

1日に約3万7000人が利用する平塚駅北口の駅前広場。昭和45年に地下通路が完成したことで、平塚駅前には現在の姿になりました。広場中央部分には「島」のよ

うに設置した4か所のバス乗降場があります。この乗降場から駅などへ向かうには、いったん地下通路に降りる必要がありますが、それには階段を使う以外に方法がないため、お年寄りや体に障がいのある

方などはとても不便な思いをしてきました。また、地下通路を使わずに車道を横断しようとするバスの利用者など、危険性が問題になっていました。ほかに、駐停車する車両が原因で交通渋滞が発生し、広場のスムーズな利用が妨げられている問題もあります。こうした現状に対し、市には多くの市民から改善要望が寄せられていました。そして市は、駅前広場のバリアフリー化や交通渋滞の解消を早期に解決すべき課題と位置づけ、整備計画を練ってきました。

「階段を使わずに、ノンステップでバス乗り場に行けるようにする」。平塚市は、JR平塚駅北口駅前広場にあるバス乗降場などのバリアフリー化を実施します。完成予定は平成21年3月。平塚市の玄関口から階段や段差などの障害物を取り除き、お年寄りや体に障がいのある方も安心して利用できる場所にしていきます。

◆問い合わせ先 まちづくり事業課(☎21-8783)

生まれ変わる駅前広場

■バスから直接歩道へ

平成21年3月の完成を目指し、間もなく整備が始まる駅前広場。その概要をお知らせします。

●バスの乗降場 駅前広場の外周部分と「駅前大通線」(駅から北に向かって延びる道路)の両側、合計16か所に配置します。いずれも直接歩道へ乗り降りすることができます。



バスを降りたら直接歩道へ(写真は現在のMNビル西側のバス乗降場)

●タクシー乗り場 駅北口の階段西側、現在とほぼ同じ場

所に配置し、利用者の利便を図ります。

●身体障がい者用乗降場 体に障がいのある方などのための一般車両乗降場をタクシー乗り場の東側に配置します。

●一般車両乗降場 広場中央に4か所ある島状のバス乗降場を2か所に減らし、一般車両の乗降場に変更します。この乗降場には地下通路につながるエレベーターを設置し、お年寄りやベビーカーを押しての利用などにも対応します。

また、地下通路と駅の北口の連絡部分にもエレベーターを設置することで、階段というバリアを取り除きます。

●カラー舗装で車道を区分 車道にカラー舗装を施してバス・タクシー用レーンと一般車両レーンを明確に区分し、だれにでもわかりやすい通行帯をつくります。



雨の朝、平塚駅北口駅前広場のバス乗降場からバスに乗り込む乗客。「島」のように置かれた乗降場へ行くには、地下通路と階段を通る必要があります

← 4・5面ですりすめの方と一緒に平塚駅周辺を歩き、実際に存在しているバリアや、解決すべき課題について検証しています



左のバーコードから犯罪発生などの緊急情報をお知らせする「ひらつか安心・安全メール」に登録できます

100 広報ひらつかは古紙配合率100%の再生紙を使っています

保育実習生を募集します

園児たちとの時間を過ごしてみませんか

市立保育園では、0歳から5歳までの子どもたちが保育士や友達と一緒に毎日元気に過ごしています。そんな保育園児たちとの生活を体験してみませんか。

- ▷ 日程
 - ・説明会 8月4日(月)
 - ・実習 8月5日(火)～8月11日(月)の土・日曜日を除く5日間
 - ・閉校式 8月12日(火)
 - ▷ 対象 市内にお住まい、通学の高校生
 - ▷ 定員 120人(先着順)
 - ▷ 受け付け開始日 6月16日(月)
- お申し込みは、こども家庭課(☎21-9612)へ。



「紅谷町まちかど広場」に掲出する七夕子ども飾りの準備をする園児と保育士

7月1日 まちづくり条例を施行します

市民とともに進めるまちづくり

市民のみなさん、事業者、そして市が力を合わせてまちづくりを進めていくためのルール「まちづくり条例」を7月1日に施行します。この条例では、まちづくりを進める仕組みや手続き、基準を定めています。

まちづくり条例とは

平塚市のまちづくり(都市計画)は、平塚のまちの将来像を描いた都市マスタープランなどを指針に進めています。この将来像の実現に向け、まちづくりを進めるための仕組みや基準、手続き方法などを定めたものがまちづくり条例です。

条例の施行後は

地域の土地利用の方針などについて地域住民が独自のルールづくりに取り組めるようになります。

- ・地域住民は、開発事業者に対して説明会の開催を要望したり、意見書を提出したりできるようにします

市民参加のまちづくり

市民のみなさんが、自分たちの手で自分たちの住む地域のルールづくりに取り組みたいと思つたときは、「地区まちづくり協議会」を設立することができます。この協議会では、建築物の

・開発事業の内容や規模に応じた手続き方法や基準が明確になります

- ・開発事業によって生じる紛争を早期に解決、調整するための制度や条例に違反した場合の罰則規定を設けます
- ・大規模な土地の取り引きをするときは、6か月前までに届け出が必要になります

情報公開制度と個人情報保護制度

平成19年度の実施状況がまとまりました

「情報公開制度」とは、市が持っている情報をみなさんに知ってもらうための制度です。また、「個人情報保護制度」とは、情報の取り扱いによる個人の権利の侵害を防ぐための制度です。

◆情報公開制度

▽行政文書の公開請求 173件(公開57件、一部公開78件、拒否27件、その他11件)

▽公開決定に伴う不服申し立て 6件 ※不服申し立て審議件数は7件(18年度からの継続2件を含む)。

▽うち答申3件(一部認容1件、棄却2件)、諮問後取り下げ1件、継続審議3件

◆個人情報保護制度

▽会議の公開 259回

▽自分に関する情報の開示請求件数 50件(開示41件、一部開示8件、その他1件)

▽開示などの決定に伴う不服申し立て 1件 ※不服申し立て審議件数は2件(18年度からの継続1件を含む)。

▽うち答申2件(認容1件、一部認容1件)

◆情報を公開しています

市役所1階の市政情報コーナーで、行政情報などの資料を閲覧できます。

お問い合わせは、市民情報・相談課(☎21-8776)へ。

申告書の平成19年度市県民税が減額に

国の税制改革で平成19年度から市県民税の負担割合が増え、所得税の負担割合が減りました。平成19年中に所得が減り所得税がかからず、市県民税の負担のみが増えた方には、再計算して差額を還付しますので申し出てください。



こうした活動に対して市は、情報や学習の機会を提供したり、専門家を派遣したりして支援します。また、提言された計画を施策に反映させていきます。

市民の意見を採り入れることにより、地域の実状に合ったまちづくりを市民、事業者と連携して進めていきます。

申告書の平成19年度市県民税が減額に

①平成19年度市県民税の課税所得金額(申告分離課税分を除く)が、所得税と市県民税の人的控除額の差の合計額より多い

②平成20年度市県民税の課税所得金額(申告分離課税分を含む)が、所得税と市県民税の人的控除額の差の合計額と同額か少ない

◆申告方法

減額申告書を平成19年度の市県民税を課税した市区町村に提出してください。

▽申告期間 土・日曜日、祝日を除く7月1日(火)～31日(木) ※7月26日(土)は、午前8時30分～正午の間申告を受け付けます

お問い合わせは、市民税課(☎21-8776)へ。

市民生活ガイドブックを発行しました

主に平塚市に転入してきた方にお配りする市民生活ガイドブックができました。平塚の自然や観光名所、公共施設、医療機関、各種手続きなど、暮らしに必要な情報を網羅しています。市役所や公民館などでお配りしていますのでご利用ください。

お問い合わせは、広報・情報政策課(☎21-8776)へ。



- 6月納期の市税・手数料 ●
 - ・市県民税 (第1期)
 - ・国民健康保険税 (第1期)
 - ・介護保険料 (第1期)
 - ・清掃し尿従量手数料 (第3期)
 - ・清掃し尿ごみ定額手数料 (第1期)
- ◆納期最終日 6月30日(月)
- 納付には、安心して便利な口座振替をご利用ください。
- ☎ 市税総務課(☎21-8769)

戸籍法・住民基本台帳法が改正されました

虚偽の届け出や不正な証明書の取得などを防ぐため、住民票の写しの交付手続きなどの際、窓口に来た方の本人確認が法律で義務付けられました。

また、代理の方が手続きするときは、本人確認書類と併せて委任状が必要です。

お問い合わせは、市民課(☎21-8773)へ。

ダイオキシン類を測定しました

環境事業センターにあるじんかい焼却処理施設の排出ガスと、遠藤原一般廃棄物最終処分場処理施設から放流する水のダイオキシン類を測定しました。その結果、測定値はすべて基準値以下でした。

お問い合わせは、環境事業センター(☎55-6615)へ。

湘南百番寄席

本物の落語を探しに行こう

in平塚商工会議所



- ▷ 日時 9月6日(土)午後5時開演
 - ▷ 会場 平塚商工会議所3階大ホール
 - ▷ 出演 滝川鯉昇、桂平治
 - ▷ 入場料 2,500円(当日券は2,800円)
 - ※全席自由
 - ▷ チケット 7月1日(火)午前10時から市民センター、山野楽器、ヨネザワ楽器などで販売
 - ※電話予約は7月2日(水)から市民センター(☎32-2237)で受け付けます
- ☎ 文化・交流課(☎32-2237)

湘南ひらつか 花火大会

日時 8月1日(金)午後7時30分打ち上げ開始
会場 相模川河口



願かけ花火参加者募集

あなたが祈願する言葉を花火に託してみませんか。参加者全員に「願かけ花火観覧エリアペア入場券」と願い事4文字を書き入れた「願かけだるま絵」を差し上げます。

- ▷ 申し込み金 2,000円(振込手数料込み)
- ▷ 申し込み方法 市役所1階案内窓口や公民館などにある申込書を、郵便局の窓口で申込金を振込み後、郵送またはファクスで商業観光課(〒254-8686浅間町9-1・FAX35-8125)へ
- ※平塚市ウェブサイトからも申し込みできます
- ▷ 締め切り 7月22日(火)

☎ 商業観光課(☎35-8107)

「平塚市まちづくり条例」などについて伺います 住民実態調査にご協力ください

◇お問い合わせ先 企画課(☎21-8797)

市では、市民のみなさんの考えや意識などを把握するため、住民実態調査を実施しています。今回は「平塚市まちづくり条例」「自治会・町内会などの地域組織の活動」がテーマです。6月下旬にお送りする調査票を7月10日(木)までに、ご返送ください。

▷ 調査対象 住民基本台帳から20歳以上の男女3,000人を無作為抽出

いつもと違う体験 してみませんか

もうすぐ
夏休み



湘南養護学校のカルチャー教室で開かれた料理教室で生徒と一緒に料理する中学生

夏休みは普段できないことにチャレンジする絶好の機会です。この機会に少し見聞を広めてみませんか。

ユースボランティア 自分の力をだれかのために

自分の力が社会に役立ち、人から感謝される喜びを実感してみませんか。ボランティア活動の経験がない方でも気軽に参加できます。

▽日程
・オリエンテーション 7月12日(土)午前10時～午後12時30分、18日(金)午後6時～8時、19日(土)午前10時～正午 ※いずれか1日にご参加ください

・活動期間 7月20日(日)～8月31日(日)の3日以上

・体験報告会 8月31日(日)午前10時～正午

▽対象 市内にお住まい、お勤め、通学の中学生～30歳の方

市民広島派遣に参加しませんか

被爆者から体験談を聞きながら、原爆ドームなどの平和施設を見学します。

8月6日の広島原爆の日には、平和記念式典に参列します。

▽日程
・事前打ち合わせ会 7月12日(土)

・広島派遣 8月5日(火)～7日(木)

・事後まとめ会 8月17日(日)

▽募集人数 120人(先着順)

▽参加費 ボランティア活動保険料(600円)などは自己負担

▽申し込み方法 住所、氏名、電話番号、学校名(勤務先)、学年(年齢)を電話、ファクスまたはEメールで

ひらつか市民活動センター
(☎21-7517・FAX21-3701・hisaco@sch-net.ne.jp)へ。

親子交流海体験で相模湾回遊

遊漁船で平塚沖の波浪観測塔や、烏帽子岩を見学し、茅ヶ崎市の小学生と交流します。

▽日時 ①7月20日(日)、Aコース午前7時30分・Bコース午前8時50分②8月10日(日)、Cコース午前7時30分・Dコース午前8時50分

▽集合場所 ①茅ヶ崎漁港 ②平塚新港

▽対象 市内にお住まいの小学生と保護者

▽定員 各コース36人(抽選)

▽申し込み方法 往復はがきに希望コース、住所、保護者氏名、電話番号、参加する児童の氏名と学校名、学年を記入し、茅ヶ崎市海浜課親子交流海体験係(〒253-8686住所記載不要)へ。

▽締め切り 7月7日(月) (☎21-9754)へ。

親子で工場見学しませんか

人や機械が自動車を組み立てる様子を親子で見学します。

▽日時 7月28日(月)・30日(水)・8月20日(水)・21日(木)、午前9時～11時

▽見学場所 日産車体株式会社(天沼10-1)

▽対象 市内にお住まいの小学生と保護者(未就学児の同伴、小学生のみの参加はできません)

▽定員 各日60人(先着順)

▽持ち物 帽子、水筒、タオル

お申し込みは、産業振興課(☎21-9758)へ。

湘南ひらつか織り姫決定

6月8日(日)に開催した「湘南ひらつか七夕まつり織り姫コンテスト」では、53人がステージ審査に挑みました。その中から、平塚市の佐藤さやかさん(写真右)、川崎市の野田渚さん(同中央)、平塚市の角田

梨翔さん(同左)が織り姫に選ばれました。

3人はこれから七夕まつりをはじめる観光行事などで活躍します。

お問い合わせは、商業観光課(☎35-8107)へ。

お問い合わせは、商業観光課(☎35-8107)へ。

☆竹飾りコンクールにご参加ください

七夕まつりでは、工夫を凝らした竹飾りが駅前商店街をはじめ、市内全域を彩ります。

その竹飾りのアイデアやデザインなどを競う竹飾りコンクールを実施します。子ども会や地域のみなさんで参加する部門もあります。ぜひ、ご参加ください。

▽受け付け場所 市民税課(市役所本庁舎1階⑨番窓口)

▽締め切り 6月27日(金)

お問い合わせは、市民税課(☎21-8767)へ。

市長コラム

まちひとと語り語り

市長 大藏 律子



安心して暮らせる社会に

市役所や公的機関の職員を装い、多額の現金をだまし取る詐欺事件が後を絶ちません。被害に遭われた方の心傷を察するとともに、安心・安全なまちづくり対策の強化を急ぐべきであると決意を新たにしています。

市内で今年1月から5か月の被害総額は約8000万円に上っています。昨年1年間の被害額に匹敵する急増ぶりです。

被害者を未然に防ぐために、高齢者を中心とした防衛策を早急に検討し、だれもが安心して暮らせる社会にしていきたいと考えています。

【次回の市長コラムは6月15日号】



☆お願い短冊を募集します

みなさんの願い事を短冊にしたため、「紅合町まちかど広場」に掲示します。

▽掲示期間 6月30日(月)～7月7日(月)

▽募集数 500点(1人1点・先着順)

▽申し込み方法 願い事(20字以内)と掲載するお名前(15字以内)をはがきまたはファクスで、七夕事務所

お問い合わせは、農水産課(☎21-2066)へ。

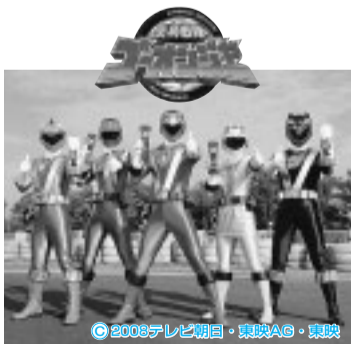
炎神戦隊ゴーオンジャー Yes!プリキュア5GoGo! がやってくる

▷日時 7月6日(日)午前11時・午後2時(2回公演)

▷会場 市民センター



湘南ひらつか七夕まつり 日産 ファミリー劇場



入場引換券は、6月24日(火)から市役所1階案内窓口や公民館、駅前市民窓口センターでお配りします(無くなり次第終了)。

※開催当日、市民センターホール入り口で入場券と引き換えます

商業観光課(☎35-8107)

みんなで平塚の話題や出来事取材して
広報紙をつくってみよう

「子ども広報」豆記者募集

夏休みに記者体験をしませんか

▷対象 市内にお住まいの小学校5・6年生

▷定員 10人(抽選)

▷編集会議 7月12日(土)午前9時～正午

▷取材活動日 夏休み期間中に4～5日

▷申し込み方法 はがきに住所、氏名、学校名、学年、電話番号を記入し、広報・情報政策課(〒254-8686浅間町9-1)へ

▷締め切り 7月1日(火)



今年は何を取材しようかな

広報・情報政策課(☎21-8761)

一緒にまちづくりを考えませんか

みんなのまち情報宅配便

◇問い合わせ先 協働推進課(内線2244)

市の職員がみなさんのところへ伺い、まちが抱える課題や行政の取り組みをお話しする「みんなのまち情報宅配便」。福祉や環境など市民生活にかかわる約70のテーマからお選びください。詳しくは、市のウェブサイトをご覧ください。

▷開催日時 年末年始を除く毎日、午前9時～午後9時のうち2時間 ※会場はご用意ください

▷対象 10人以上の市民グループや団体

このまちにバリアはいらない

でも、こんなに多くのバリアがあった



歩道の上にふれかえった自転車。整理をしないと歩く場所がありません。これが平塚駅前毎朝繰り返されている光景です。

電車に乗るときなどは、平塚駅まで行けばエレベーターを使ってホームに出ることが出来ます。でも、駅まで行くための手段を考えてみてください。駅周辺の現状は、決して「人に優しい」とはいえません。北口のロータリーなどは、造った当時から車優先の社会だったから、人に優しい作りになっていないと思えません。当時のそのような選択が、今、障がい者にとって大きなバリアとなっているのです。

バリアフリー化に期待します

実際に車いすでバスに乗るにはどうしたらいいのか、かつて仲間たちと試してみたいとあります。まず、バスの乗り場まで、タクシーの車か通る車道を横切っていく必要があります。乗り場には大きな段差があるから、だれか助けてもらおうか、バスの運転手さんに上げてもらえないまで車道で待っているだけではないのです。今回のバリアフリー化で、このような障害が解消するのは、本当にうれしいことです。



山上徳行さん(中里)

まちに点在するバリアを、市の「交通バリアフリー基本構想」策定に協力していただいた山上徳行さんと一緒に見て回りました。

身体障がい者用の自動車乗降場。ここで自動車を降りても、歩道との間に段差があり車いすで乗り越えていくことはできません。少し離れた場所にあるスロープから歩道に上がりました。



自動販売機が置かれ、幅の狭まった歩道。車いすで通過するにはぎりぎりの幅でした。ほかにも歩道上に置かれた店の看板や、庭からはみ出した樹木などが通行の妨げになることがあります。



平塚駅南口のバスロータリー。車道に出るための小さな段差も、前輪が小さな車いすにとっては厄介な存在です。横断歩道の先にあるバス乗り場の段差は乗り越えることはできません。



商店街の歩道に無造作に置かれた自転車。「駐輪」という何気ない行為が、まちに大きなバリアをつくることもあります。歩行者の流れと、はみ出した自転車に阻まれ、スムーズに移動できません。



地下道の坂道を登るのも一苦労。車いすを押してもらって乗り切りました。

車いすの方と一緒にまちを歩いてみました

だれにでもできるバリアフリー 自転車の駐輪を考えよう

自転車をバリアにしないで 市の自転車整理業務をしている内藤忠一さん



平塚駅から北に延びる通り沿いの場合、歩道が駐輪場になっていきますから、人が歩ける場所を確保するため真っ先に自転車を整理しています。できるだけ駅に近い場所へ自転車を置きたい気持ちも分かりますが、もう少し時間に余裕を持って空いている場所を利用してもらえれば、このような状況も解消されると思います。自転車の整理をしていると、いろいろな方を見かけます。ときには、点字ブロックの上に自転車を置いて、「邪魔にならない場所にとめて何が悪い」と言う方もいます。実際に目の不自由な方が自転車にぶつかり転倒しそうになるのを見かけたこともあります。安易に自転車をとめてしまうことで、まちの中にどんどんバリアができてしまうのです。

大きなバリアをつくっている 自転車の不法駐輪

地球環境に優しく、手軽な交通手段としても便利な自転車。平塚駅周辺には毎日、市民のみならず、自転車がたくさん集まっています。自転車がたかさん集まると、決められた場所以外のところにとめてしまったりするようになります。一人の人がとめる自転車は一台でも、何十、何百という人が歩道に自転車をとめれば、歩行者などの通行を妨げ、事故の原因や非常時の救急活動の妨げにもつながります。「自分一人く



平塚駅の周辺は、駐輪場として決められた場所を除き「自転車放置禁止区域」になっています。放置自転車をなくし、まちがバリアを取り去るためには、市民一人一人の理解と協力が必ず必要です。

育児相談

「昔はみんな噛んでいた」

保健センター ☎55-2111

●飲み込む前にしっかりと噛む
●歯ごたえのある食材を取り入れる
●会話を交わしながら、楽しくゆっくり食べる
●毎日の歯みがきなどに加え、よく噛んで食事をすることでむし歯を予防していきましょう。

●一度の食事にかかる時間は
●乳生時代 50分
●江戸時代 20分
●現代 10分

●噛む回数は
●乳生時代 3990回
●江戸時代 1465回
●現代 620回

※齋藤滋香「噛まない子は本気でダメになる」(風人社社刊)

●よく噛むことは大切なこと
よく噛んで食事をすると、脳の発達、胃腸の働き、口や舌の正常な発育などが促され、肥満の予防にもなります。また、噛むことで唾液の分泌量が増えます。

●子ども教育相談センター
崇善小学校北側 ☎36-6013

だ液には、「細菌の増加を防ぐ」「歯の質を強くする」「初期むし歯の再石灰化を促す」「口の内の汚れを洗い流す」などの効果があります。

●よく噛んで食べるコツ
一口の量を少なめにする
水分で流し込まない

●子ども教育相談センター
青少年相談室では、青少年からの悩みごとの相談を受けています(4面下段の市民相談「青少年相談室」参照)。今回、通常の相談日時のほかに、次の日時にも相談をお受けいたします。
●ナイトヤングテレホン相談 ☎33-7830 ▷日時 6月16日(月)～20日(金)午後6時30分～9時
●サンデー青少年相談 ▷日時 6月22日(日)午前10時～午後6時30分 ▷内容 来室相談(市民センター2階青少年相談室)、電話相談 ☎34-7311

教育相談

このころはどこですか

みなさんは、お子さんのいところをいくつあげられますか。学校で落ち着きのないA君のお母さんは、「うちの子はいいところはないんです。寝てあげなくてはならないです。悪いところばかり目について、いつも怒ってしまっている」と言いました。

●子ども教育相談センター
崇善小学校北側 ☎36-6013

それから、お母さんはA君が頑張っているところを、少しずつでも認めていくようにしました。そして言葉だけでではなく、一緒に行動して、できたことを褒めてあげるようにしました。A君も褒めてもらえることが増え、失いかけた自信を取り戻していききました。

みなさんも時々、子どものいいところを考える時間を作ってはどうでしょうか。子どものいいところが見えてきて、自然と褒めることができると思います。

●子ども教育相談センター
崇善小学校北側 ☎36-6013

お母さんと一緒に、ゆっくりA君のことを考えていきました。すると、お母さんがA君のことをしっかりとせなくてはいけないと思って頑張りすぎていたこと、注意してばかりでA君のよい部分を見ることができなかったこと、そして、親子の関係を悪くしていたことに気づきました。

あなたの手紙を生きかします

●市長への手紙 郵送料市負担の手紙。公民館などにあります。
●なでしこファクス フリーダイヤル ☎0142-5089
●問い合わせ先 市民情報相談課 ☎21-8764

市民相談

市民相談室 (市役所1階) ☎21-8764

- ◇行政 7月7日(月)13時～16時
- ◇一般法律(予約制) 毎週水・木曜日、13時～16時
- ◇登記・供託(予約制) 7月11日(金)13時～16時
- ◇土地境界・測量 7月11日(金)13時～16時
- ◇住宅(新・改築) 6月17日(火)・7月15日(火)13時～16時
- ◇発明・考案・特許 7月14日(月)10時～12時・13時～15時
- ◇下請取引 6月16日(月)13時30分～16時
- ◇年金・社会保険・労災 7月8日(火)13時～16時
- ◇税務(予約制) 7月4日(金)13時～16時
- ◇不動産 6月20日(金)・7月18日(金)13時～16時
- ◇建築設計・耐震・バリアフリー 6月16日(月)13時～16時
- ◇外国籍市民

●保健福祉総合相談 (市役所南附属庁舎1階) ☎21-8779

- ◇来所・電話 毎週月～金曜日、8時30分～17時
- ◇健康相談 (保健センター) ☎55-2111
- ◇来所(生活習慣病の予防や食事、運動による病状改善相談。予約制) 毎週月～金曜日、8時30分～17時
- ◇福祉会館 ☎33-2333
- ◇法律(予約制) 7月8日(火)13時30分～15時30分
- ◇生活支援 毎週月～金曜日、9時30分～16時

●人権相談 (市役所東附属庁舎2階、人権・男女共同参画課) ☎23-1111・内線2172

- ◇来所 6月17日(火)・7月1日(火)13時～16時
- ◇女性のための相談 (市役所東附属庁舎2階、人権・男女共同参画課) ☎21-9611
- ◇来所・電話 毎週月～金曜日、9時30分～16時
- ◇消費生活センター (JAビルかながわ2階) ☎21-7530
- ◇来所・電話 毎週月～金曜日、9時～12時・13時～16時

●子育て支援センター (豊田分庁舎) ☎34-9076

- ◇子育ての相談・情報提供 毎週月～金曜日、9時30分～16時
- ◇子どもの総合相談 (市役所1階、子ども家庭課) ☎23-1111・内線2744
- ◇子ども総合相談 毎週月～金曜日、8時30分～17時
- ◇家庭児童相談室 毎週月～金曜日、9時～16時
- ◇母子相談室 毎週月～金曜日、9時～15時45分
- ◇療育相談室 (福祉事業センター) ☎34-2738
- ◇子どもの発達相談(来所・予約制) 毎週月～金曜日、10時～15時
- ◇障がいがある方の相談 (市役所南附属庁舎1階、障がい福祉課) ☎21-8774
- ◇手話案内(☎35-5770) 毎週金曜日、9時～12時30分
- ◇精神保健福祉(予約制) 毎週月～金曜日、9時30分～16時

●子ども教育相談センター (崇善小学校北側) ☎36-6013

- ◇来所 毎週月～金曜日、10時～17時
- ◇電話 毎週月～金曜日、9時～17時
- ◇青少年相談室 (市民センター2階) ☎34-7311
- ◇青少年相談 毎週月～土曜日、10時～18時30分
- ◇青少年専用ダイヤル・ヤングテレホン ☎33-7830 毎週月～土曜日、10時～18時30分

●ボランティア 毎週月～金曜日、8時30分～17時

健康福祉

脳ドックを開設しました

市民病院でMRIを使って検査し、専門医が判定と面談をします。

▽検査日時 毎週水曜日午後1時

▽面談日 検査日から2週目以降の水曜日、午後1時

▽定員 各日1人

▽受診料 4万3000円

※市民病院で人間ドック受診後3か月以内の方は3万3000円

▽申し込み先 医事課(☎32-0015)

・午前8時30分～正午

・正午～午後5時 人間ドック室(☎32-0015)

お問い合わせは、医事課(☎32-0015)へ。

後期高齢者医療制度保険料額を通知します

7月中旬に、「後期高齢者医療保険料額決定通知書兼納入通知書」を送付します。通知書には、年間の保険料額や納め方などの情報を記載しています。

お問い合わせは、保険年金課(☎21-9768)へ。

児童手当現況届は6月中旬

児童手当を受給している方は、資格確認のため現況届を提出してください。なお、窓口の混雑が予想されるので、なるべく郵送での提出をお願いします。

▽提出場所 市役所1階市民ホール※郵送の場合は子ども家庭課(〒254-8686 浅間町9-1)へ

▽提出期限 6月30日(月)

幼稚園の保育料を減免します

所得に応じて幼稚園の入園料・保育料を減免します。幼稚園でお配りする申出書を直接幼稚園に提出してください。

▽対象 市内にお住まいの幼稚園児がいる保護者

お問い合わせは、学務課(☎35-8118)へ。

保健センターの健康教室にご参加を

市内にお住まい、お勤めの方を対象に開きます。

①料理教室・男性のための健康台所処世術

▽日時 7月11日(金)午後6時30分～8時15分

▽定員 40人(先着順)

▽参加費 400円

▽持ち物 エプロン、三角布

②料理教室・糖尿病の食事まるわかり

▽日時 7月22日(火)午前10時～午後1時

▽定員 40人(先着順)

▽参加費 400円

▽持ち物 エプロン、三角布

③ストロップメタボリック教室

健康、わたしのとっておき

佐藤正和さん(四之宮)



元気な愛犬につられて散歩の途中で走ることもあります

毎朝4時30分に起きて柔軟体操をしています。勤めに出ているときは、毎朝3時30分に起きていたので早起きは苦になりませんね。朝と夕方、台風でも来ない限り家の近所を犬と一緒に散歩します。昔から体を動かすのが好きでしたが、気持ちにゆとりを持って、自然体で過ごすのが健康の秘けつでしょうか。

このコーナーでは、平塚市生きがい事業団の会員として、元気に活動している方の健康の秘けつを紹介しています。事業団では、会員を募集しています。詳しくは生きがい事業団(☎33-2335)へ。

◆広報・情報政策課(☎21-8761)

市職員・嘱託員を募集します

◆市民病院看護職員

▽募集職種 ①看護師②助産師

▽募集人数 ①25人程度②5人程度

▽対象 看護師、助産師の資格がある方または、平成21年3月までに資格取得見込みの方

▽試験日 7月13日(日)

▽応募方法 病院総務課にある受験申込書(希望者には郵送します)を7月3日(木)までに郵送または直接同課へ

▽病院総務課(☎32-0015)

◆教育委員会嘱託員

▽募集職種 ①校務作業員②給食調理員

▽募集人数 ①2人②3人

▽試験日 6月28日(土)

▽勤務日時 ①週5日、午前8時～午後2時45分(月曜日～金曜日)②週4日、午前8時～午後4時15分(指定日)

▽採用日 9月1日以降

▽雇用期間 平成21年3月31日まで(更新できる場合があります)

※ほかの職種に欠員が生じた場合、その職種で採用することもあります

▽応募方法 教育総務課、図書館、公民館などにある受験申込書(平塚市のウェブサイトからダウンロードできます)を6月24日(火)までに直接同課へ

▽教育総務課(☎35-8113)

自殺防止と命を考える講演会を開きます

大切な命を守るために「今すべきこと」を一緒に考えて考える講演会を開きます。

▽日時 7月8日(火)、午後3時30分～5時30分

▽会場 平塚保健福祉事務所(豊原町6-21)

▽講師 河西千秋さん(横浜市立大学医学部精神医学教室准教授)

▽定員 100人(先着順)

日赤救急法基礎講習会にご参加を

AED(自動体外式除細動器)の操作や心肺蘇生法などを学びます。

※検定試験あり

▽日時 7月13日(日)正午～午後4時

▽会場 中央公民館

▽対象 15歳以上の方(中学生は除く)

▽定員 20人(抽選)

▽教材費 1500円

お申し込みは、はがきに住所、氏名、生年月日、電話番号を記入し、7月1日(火)までに福祉総務課(〒254-8686 浅間町9-1)へ。内線2671へ。

障がい者のための運動教室を実施します

身体障害者手帳をお持ちで就職するために自動車運転免許取得を希望する方のための無料運転教習です。

▽教習期間 3か月間(入

家族のための介護教室を開きます

お申し込みは、はがきに住所、氏名、生年月日、電話番号を記入し、7月1日(火)までに福祉総務課(〒254-8686 浅間町9-1)へ。内線2671へ。

▽日時 7月24日(木)午前10時～正午

▽会場 富士見公民館

▽内容 腰痛予防体操、筋力測定など

▽対象 市内にお住まい、お勤めで高齢の家族を介護している方

▽定員 30人(先着順)

▽申し込み先 桜ヶ丘ケアセンター(☎30-1212)へ

お問い合わせは、高齢福祉課(☎21-8778)へ。

次世代に伝えたい 食育のススメ

第3話 夏の食中毒予防策…冷蔵庫の活用術



梅雨から夏にかけての食品保存。「冷蔵庫に入れば安心」と思っていませんか? たとえ冷凍庫で保存しても細菌は死にません。冷蔵庫内の温度変化は食品劣化の原因。わずか10秒間のドアの開け閉めでも元の温度に戻るのに20～30分かかる場合

があります。冷蔵庫を上手に使って食中毒を予防しましょう。

冷蔵庫利用のポイント

- 食品を収容するにはラップや容器を活用する
 - 熱いものは冷ましてから入庫する
 - ドアの開閉は素早く数少なく
 - 収容目安は7割
- ◆健康課(☎55-2111)

安心・安全まちづくり

はい!こちら110番です

第3報 おかしい?と思ったらすぐに110番



北海道の洞爺湖で7月7日から3日間開催する主要国首脳会議(サミット)をはじめ、世界各国のVIPが集まる国際会議が日本国内で数多く開催されます。大規模な国際会議を目前に控え、全国の警察署が、それぞれの地域で警戒態勢を強化しています。平塚警察署管内でも駅周辺の巡回や路線バスの安全対策などを実施し

ています。パトロール中の警察官が声をかけて情報を求めることなどもあります。不審者や不審物などを見かけて「おかしい?」と思ったら決して近づかず、すぐに110番通報して警察官を呼んでください。身近な場所に世界中の注目が集まるときこそ、地域のみなさんとの連携と協力が必要になってきます。

◆平塚警察署警備課(☎31-0110)

この時期は特に注意が必要です

6月は土砂災害防止月間

◇問い合わせ先 防災危機管理課(☎21-9734)

梅雨の季節は長雨や集中豪雨によって、がけ崩れや土石流などの土砂災害が発生しやすくなります。日ごろから、家の周りの急傾斜地など危険な場所を確認して、安全対策を考えておきましょう。また、テレビやラジオ、気象庁のウェブサイトなどで気象情報をこまめにチェックし、異常を発見したり、危険を感じたりしたら速やかに安全な場所に避難しましょう。

情報館

◆平塚あきんど実践大学の
受講者を募集します

◆環境フェアフリーマーケット
出店者募集

◆男女共同参画情報誌「ま
め」の編集委員を募集

◆市民文芸「夏の部の作品
を募集します

◆夏休み自由研究「コケ研
究指南を開きます

◆優良店舗コンクールへの
参加店を募集します

◆日米大学野球選手選考合
宿を見にきませんか

◆美術館ワークショップに
参加しよう

◆子ども七夕茶会

◆子ども七夕茶会


◆子ども七夕茶会

◆子ども七夕茶会

◆子ども七夕茶会

★しりとりばらいく★
平塚市周辺のイベント情報をお届けします

暁の祭典 浜降祭(茅ヶ崎市西浜海岸)
7月21日(祝)午前5時ごろ一番みこし入場



茅ヶ崎市と寒川町の神社からおよそ40基のみこしが夜明けの海岸に集まります。「どっこい、どっこい」の掛け声とともに砂浜を乱舞する光景は壮観です。
※茅ヶ崎駅南口から臨時バスあり
◆茅ヶ崎海岸浜降祭実行委員会(☎0467-58-1111)

▽対象 ①お子さんと保護者②小学生
▽定員 各20人(先着順)
▽参加費 ①無料②1000円
お申し込みは、住所、氏名、電話番号、メールアドレスと希望プログラムをはがき、ファクスまたはEメールで美術館(〒254-0073 西八幡一丁目3-3・FAX 35-2741・art-museum@city.hiratsuka.kanagawa.jp・☎35-2741)へ。
▽期日 7月27日(日)
▽会場 総合体育館
▽対象 市内にお住まいの個人・グループ(業者は除く)
▽販売品目 不用になった衣類、食器類、本など
※飲食物、生き物、リサイクルに関係のない手作り品などは販売できません
▽募集店数 20店(抽選)
お申し込みは、往復はがきに住所、氏名、電話番号、販売する品物、当日の交通手段を記入し、6月20日(金)までにリサイクルプラザ(〒254-0014 四之宮七丁目3-5・☎51-5800)へ。
◆6月23日～29日は男女共同参画週間です
推進団体の活動を紹介す

る展示会を開きます。
▽日時 6月23日(月)～27日(金)、午前8時30分～午後5時(初日は正午から、最終日は午後3時まで)
▽会場 市役所1階市民ホール
お問い合わせは、人権・男女共同参画課(内線2172)へ。
◆男女共同参画情報誌「まめ」の編集委員を募集
▽対象 市内にお住まい、お勤め、通学の18～75歳の方 ※高校生は除く
▽任期 2年
▽募集人数 3人(選考)
▽応募方法 住所、氏名、年齢、職業、電話番号と40字詰め原稿用紙3枚以内の作文(テーマ「生活の中の男性・女性の役割についてあなたはどう考えますか」)を郵送、ファクスまたはEメールで7月7日(月)までに人権・男女共同参画課(〒254-8686 浅間町9-1・FAX 21-6736・danjo@city.hiratsuka.kanagawa.jp・内線2177)へ。
◆市民文芸「夏の部の作品を募集します」
▽部門「題」
・俳句「扇(うちわ)」「青蕨(あおた)」「3句まで」
・短歌 題は自由(2首まで)
・川柳「風」(3句まで)
・現代詩 題は自由・800字以内(1遍)
▽対象 市内にお住まい、お勤め、通学の方
▽応募規定 ①未発表作品②部門ごとに10詩(詩は原稿用紙で)③かい書で分かりやすく(読みにくい文字にはふりがなを)④はがきに部門と住所、氏名(ふりがな)、電話番号、勤務先(学校名)、作品名を記入(詩は封書で送付)

学校や地域のことを話し合ってみませんか。
▽本会議 10月26日(日)、午前10時～午後2時
▽準備会 8月5日(火)、7日(木)、10月19日(日)
▽報告発表会 11月23日(祝)
▽会場 市議会議場など
▽対象 市内にお住まいの小学校5年生・中学校3年生
▽募集人数 30人(抽選)
お申し込みは、直接青少年課書少年会館内(☎32-7029・月曜日は休館)へ。
◆夏休み「ちびっこ」囲碁入門教室を開きます
初心者的小・中学生に向けた囲碁教室です。
▽日時 7月23日(水)～8月26日(火)のうちの10日間、午前10時～11時30分
▽会場 青少年会館など
▽定員 80人(先着順)
お申し込みは、はがきに住所、氏名(ふりがな)、学年、電話番号を記入し、文化財回ちびっこ囲碁入門教

室係(〒254-0045 見附町15-1・☎32-2237)へ。
◆16ミリ映写機操作技術講習会を開きます
▽日時 6月28日(土)午前9時～午後4時50分
▽会場 中央図書館
▽対象 市内にお住まい、お勤め、通学の方
▽定員 20人(先着順)
▽参加費 5000円
▽持ち物 筆記用具、昼食
お申し込みは、6月17日(火)から中央図書館(☎31-0415)へ。
◆夏休み自由研究「コケ研究指南を開きます」
▽期日 7月13日(日)、8月19日(火)
▽会場 博物館
▽対象 小・中学生(小学生は保護者同伴)
▽定員 20人(抽選)
お申し込みは、往復はがきに住所、氏名、学年、電話番号を記入し、7月4日(金)までに博物館(〒254-0041 浅間町12-41・☎33-5111)へ。
◆優良店舗コンクールへの参加店を募集します
▽対象 次の条件をすべて満たす店舗 ①市内で平成20年3月31日までに開業し、

みんなで広げよう 環境の環

第3回 自然豊かな丹沢を再発見

丹沢山塊の自然を考える会(会長 鈴木盛彦さん)
▷会員数 118人
▷活動場所 花水川から丹沢



1500メートル級の山々が連なり「神奈川の屋根」ともいわれる丹沢山塊。ブナやモミが生い茂る中を清流が流れ、豊かな自然が四季折々の顔を見せています。ただ、近年は県内外から大勢のハイカーが訪れる観光地にもなっており、林道開発に伴う深刻な環境破壊や生態系の異変などが懸念されています。平塚周辺の山歩きや調査活動などで自然の魅力を伝えるとともに、刻々と姿を変えていく丹沢の現状に警鐘を鳴らす活動を始めて約10年になります。林道開発の経緯を追った写真展の開催や、金目川清掃、森林の下草刈りといった活動を通して自然と人との上手なかかわり方をあらためて考えています。
◆環境政策課(内線2330)

貸し出しています 広報ビデオ

★ビデオの一覧は市のウェブサイト「平塚発 メディア情報」→「広報ビデオ」

おすすめビデオ紹介

「HIRATSUKAヒトビトMAP VOL.9」(平成18年制作)

様々な分野で活躍する「人」を紹介する番組。点訳ボランティアとして活躍する池田泰俊さん(右写真)と、日本の伝統文化を広めようと夢の指導に携わる小出慈恵さんを紹介しています。



☎ 広報・情報政策課(☎21-8761)

広報ひらつかの有料広告主を募集しています

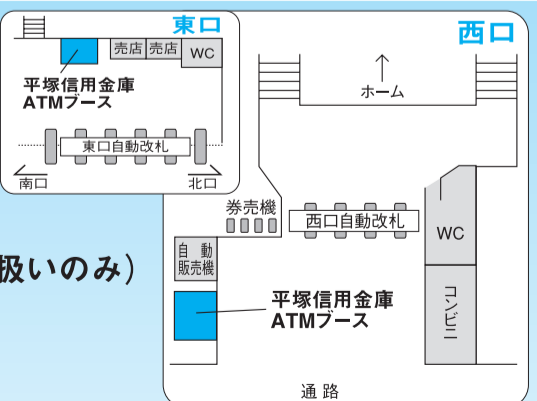
広報ひらつか6月15日号の1部当たりの印刷単価は6円97銭です。そのうちの約11%にあたる75銭を広告収入で賄っています。広報紙への広告掲載のお問い合わせは、広報・情報政策課(☎21-8761)へ。

7月28日(月) 平塚駅西口にもATMオープン! 東回と西回両方でご利用頂けます

営業時間 朝7時から夜11時まで (平日・土曜日・休日)

取扱業務

- 入出金 ●残高照会
- 通帳記入 ●振込 (CD扱いのみ)
- 振替 ●暗証番号変更
- 支払限度額変更
- 取引履歴照会



お問い合わせ先 TRIbank Hiratsuka 平塚信用金庫 営業統括部
☎0463-24-3080

赤ちゃんの健康メモ

7月のカレンダー

会場・問い合わせ先は保健センターです。母子健康手帳を忘れずに。

母親父親教室

これから母親、父親になる方の教室です。

【前期 妊娠6か月までの方】

- 7日(月) 午後1時30分～3時15分 歯の衛生・妊娠中の過ごし方
- 12日(土) 午前10時30分～午後2時 調理実習で学ぶ妊娠中と産後の栄養(予約制)

【後期 妊娠8か月以降の方】

- 14日(月) 午後1時30分～3時15分 お産の進み方と産後の過ごし方、呼吸法。祖父祖母教室も開催
 - 26日(土) 午後1時30分～3時30分 赤ちゃんのおふろ
- 【プレバパ&ママクッキング教室】
- 26日(土) 午前10時30分～正午 大人の食事と離乳食の調理実習・試食

子育て相談

【妊婦・新生児の訪問相談】

ご自宅で、妊娠中の健康管理や新生児に関する相談をお受けします(予約制)。

【育児相談】

生活、歯の衛生、食事の相談。
◇受け付け 毎週水曜日午

前9時30分～10時30分

【にこにこ相談】

生活、食事の相談。
◇受け付け 11日(金)・25日(金) 午後1時30分～3時

乳幼児の健康診査

【乳児個別健康診査】

医療機関へ直接お申し込みください。実施医療機関の一覧表は保健センターでお配りしています。

◇4か月児対象

(満4か月～5か月未満)

◇8～10か月児対象

(満8か月～11か月未満)

【幼児集団健康診査】

受診日の1週間前までに案内通知を送ります。受け付け時間は午後1時～2時です。

◇対象 1歳6か月のお子さん

(1歳7か月になる月が対象)

- 実施日 1日・8日・15日(火)

◇対象 3歳のお子さん

(3歳2か月になる月が対象)

- 実施日 3日・10日・17日(木)

【歯科健康診査】

歯の健康診査やフッ素体験塗布・相談など(予約制)。

◇2歳1か月～2歳6か月児対象

- 9日(水) 午後1時30分～2時30分

- 24日(木) 午前9時30分～10時30分



鈴木遙菜ちゃん
平成19年8月5日生まれ
(土屋)



小張友輔ちゃん
平成19年10月30日生まれ
(横内)



稲垣博心ちゃん
平成19年10月20日生まれ
(下吉沢)

▶応募方法 写真に赤ちゃんの氏名(ふりがな)・生年月日・住所・電話番号を記入し、広報ひらつか「赤ちゃんのステージ」係(〒254-8686 浅間町9-1)へ

赤ちゃんのステージ

みんな元気に育ってね

▶対象 市内にお住まいの1歳未満(掲載時)の赤ちゃん
▶締め切り 前月の20日(応募多数の場合は抽選)。
★今回の応募は32人でした。



佐藤正斗ちゃん
平成19年10月24日生まれ
(御殿丁目)



小泉里碧ちゃん
平成20年2月4日生まれ
(四之宮丁目)



湯澤友見ちゃん
平成19年7月25日生まれ
(見附町)

★応募写真は平塚市ウェブサイトの「広報ひらつか」のページでも紹介します。デジタル写真の応募も同サイトをご利用ください

離乳食の教室

離乳食の進め方など成長に合わせたコースです。1週間前までにご予約ください。

【ごっくん離乳食教室】

- 5～6か月児対象、31日(木) 午後1時30分～2時40分

【もぐもぐ離乳食教室】

- 7～8か月児対象、4日(金)、18日(金) 午後1時30分～3時

【カミカミ離乳食教室】

- 9～12か月児対象、10日(木) 午前10時30分～11時30分

【離乳食卒業教室】

- 1歳1か月～1歳6か月児対象、29日(火) 午前10時30分～11時30分

子育て教室

お子さんと一緒に学べる

体験教室です(予約制)。

【のびのびキッズ2歳児教室】

- 楽しい食事と好き嫌い 11日(金) 午前10時30分～11時30分

- 2歳児の特徴と接し方・親子遊び 18日(金) 午前10時30分～11時30分

- むし歯予防とブラッシング実習 25日(金) 午前10時30分～11時30分

【すくすく子育て教室】

5～6か月児が対象。育児や遊び方など。「ブックスタート」事業を同時開催。

- 16日(水) 午後1時30分～3時30分

【歯っぴい教室】

12か月～1歳3か月児が対象。歯の手入れなど。

- 1日(火)、5日(土) 午前10時～11時



保健センター

休日・夜間急患診療所
東豊田448-3 ☎55-2111

バス 平塚駅北口から「下島・大島經由田村車庫行き」または「平間・大島經由伊勢原駅南口行き」湘南車検場前下車、大人片道230円

インターネットの離乳食相談室

www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/kenko/kodomo-soudan-mail.htm

季節をめぐるまち歩き

ひらつか スケッチブック

6月 あじさいの咲く河内川

ゆるいカーブを描いて住宅街を流れる河内川。その土手には、赤紫や青紫の花をつけたあじさいの並木が続いています。

今こそ鮮やかなあじさいに彩られるこの川も、かつては投げ込まれたごみや生活排水でひどく汚れていた時期がありました。

「河内川をもう一度、魚が泳ぎ、子どもたちが遊ぶ川にしたい」。流域に暮らすみなさんは手を取り合って、川の掃除や土手の草刈りに取り組まいます。「土手に花が咲いたらすてきな川だね」。あじさいが植えられたのは、今から10年前のことでした。その数は年々増え、今では川沿いに約2千株が咲き誇るまでになりました。平成17年からは、『河内川あじさい祭り』も開催するようになりました。地域の方で生まれたこのお祭り、今年も6月15日(日)に開くそうです。

小さな花が集まって、見事な大輪をつくるあじさい。その姿はまるで、河内川流域の人たちが力を合わせて取り組んできた活動を象徴しているかのようです。

file #15 漂着物

ちょっと海まで

Let's find the enjoyment of the sea.



正派シイガイが付着した漂着物

島崎藤村作詞の唱歌「椰子の実」のイメージから、遠方から浜辺に流れ着くものとして、ヤシの実(ココヤシ)を思い浮かべます。

かべる方も多いのではないでしょうか。平塚海岸でも、ヤシの実に出会うことがあります。皮がささくれたココヤシは、おそらく長旅をしてきたのでしょう。しかし、果皮のきれいなものは、近くで捨てられた可能性が高いと考えられます。

相模湾には黒潮の支流が流れ込んでいるので、南方から流れ着くものがあるのは、まったく不思議ではありません。そのことがはつきり分かるものは少ないのですが、サキシマスオウノキやゴバンノアシといった南方性の木の実は、長い旅の後にたどり着いたと考えて間違いないでしょう。

◆担当 博物館 ☎33-5111

目安になるものとして、エボシガイやフジツボ(どちらもエビ・カニの仲間)などの付着生物があります。エボシガイは海面に浮かぶものにくっついて生活していて、浮きや瓶、ペットボトルなどの人工物にも付着します。これらの動物がくっついて、大きく成長するには、それだけの時間が必要です。ですから、エボシガイやフジツボがついていれば、大きいほど、長い間海にあってきたと考えられます。

これらの生きものは、わたしたちに「もの」の来歴を伝えてくれる重要な手がかりの一つです。

遠き島より流れ寄るロマン